

シヤウブ、コバイケイ、サルマメ、キソエビネ、キンセイラン、ミヤマチドリ、コイチエフラン、アリドホシラン、ヒメミヤマウヅラ、ホザキイチエフラン、ミヤマフタバラン、シヨウキラン。〔離〕ミヤマヤナギ、ミヤマハンノキ、ヤハズハンノキ、ムカゴトラノヲ、オンタデ、センジュガンピ、タカネツメクサ、ハクサンイチゲ、バイクワウレン、ミヤマキンポウゲ、シナノキンバイ、コマクサ、ヲサバグサ、ミヤマタネツケバナ、クモマナヅナ、ハクセンナヅナ、イハベンケイ、アラシグサ、コマガタケスグリ、クモマグサ、チャウノスケサウ、コガネイチゴ、ベニバナイチゴ、チングルマ、タテヤマキンバイ、タカネナナカマド、イハワウギ、オヤマノエンドウ、ハクサンフウロ、ガンカウラン、クロツリバナ、タカネスミレ、ミヤマゼンコ。〔合〕イハウメ、コメバツガザクラ、イハヒゲ、アヲノツガザクラ、ツガザクラ、キバナシヤクナゲ、ヤエキバナシヤクナゲ、ハクサンシヤクナゲ、ウラシマツツジ、クロマメノキ、オホサクラサウ、コハクウンボク、タウヤクリンダウ、ミヤマアケボノサウ(シマイケアケボノサウ)、ミヤマシホガマ、セリバシホガマ、ミヤマクハガタ、オニク、ミヤマムグラ、オホヘウタンボク、チシマギキヤウ、タカネウスユキサウ、タカネヨモギ、ミヤマヲトコヨモギ、ハハコヨモギ、カヒタカラカウ、ヒメウスユキサウ、ミヤマカウヅリナ、シラネアザミ、クロタウヒレン。

〇ヤマイワカガミの白花品 (檜山庫三) Kōzō HIYAMA: *Shortia soldanelloides* var. *intercedens* f. *candida* forma nov.

ヤマイワカガミに純白花品があるので記録しておきたい。これは昭和5年に私の父が甲州の七面山で採つて私へのみやげに持ち帰つたものであるが、イワカガミともヒメイワカガミとも葉形が變つているので、当時牧野先生にご覧に入れたところヒメイワカガミだと申されたままに今までしまいこんでいたところ、今度ヤマイワカガミというものが記載されたので、改めてこのものにシロバナヤマイワカガミの和名を与え、学名は次のように定める。

Shortia soldanelloides (Sieb. et Zucc.) Makino var. *intercedens* Ohwi, Fl. Jap. 872 (1953) & in Bull. Nation. Sci. Mus. no. 33:81 (1953).

forma *candida* Hiyama, nov. f. Flores albi.

Hab. Hondo: in monte Shichimen-zan, Prov. Kai (leg. Eitaro Hiyama, 1930)
—in Herb. Nation. Sci. Mus. Tokyo.

□新刊

水口 清: 和歌山県植物方言集 130 頁 150 円 和歌山県東牟婁郡色川村色川中学校先に秋田の植物方言、淡路の植物方言を出版した著者が郷里に戻つて昭和11年以來苦心して蒐集したもの。